

坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学校だより
令和4年度 2月号
発行責任者：中村宗義



～やる気にみち 頑張りぬく みんな笑顔の坂元小～

子どもの自立心を育てる言葉かけ

校長 中村 宗義

先月、厳しい寒波が訪れ、大雪に見舞われました。子どもたちは、久しぶりの積雪に大喜び。校門をくぐると真っ白な雪のじゅうたんを踏みしめ、朝から雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりと歓声を上げて楽しんでいました。しかし、そうこうするうちに、「あ～手袋がぐちょぐちょだ。」「靴下が濡れちゃった。」とあちらこちらから聞こえてきます。すると、「替えの靴下をもってきたもんね。」とか、「もう一つ、手袋あるし。」と答えている児童がいます。濡れることを想定して準備したようです。

さて、授業では「見通す」という学習過程があります。これまでの経験をもとに、計画や解決方法を考えたり、結果を予想したりする活動です。しかし、見通す力は、声のかけ方次第で家庭でも身に付けていくことができます。例えば、午後から雨天の予報だとします。

A：昼から雨予報だから傘を持っていきなさいよ。

B：昼から雨予報だけど準備しないといけないものがあるんじゃない。

の声掛けの違いです。つつい「〇〇しなさい。」と言いがちですが、「あなたは どう思う」「どうすればいいと思う」など、子ども自らが考え、判断し、行動できるような言葉かけです。言葉かけ一つで、自立心を育成することにつながりますよ。

研究授業～3年生理科「じしゃくにつけよう」～

2月13日（月）の5校時に、3年生が理科の「じしゃくにつけよう」の研究授業を行いました。磁石に付けた鉄が磁石になったことを調べる方法について考えるという内容でした。

子どもたちは、実際に鉄に磁石をつけて確認をしたり、友達と調べる方法を話合ったりして、意欲的に学習に取り組むことができていました。

研究授業後には、参観した職員が集まり、今後の授業改善について活発な意見交換を行いました。子どもたちが共に学び合う授業づくりに向けて、今後も全職員で取組を進めていきます。



全体指導の様子



磁石につける様子



友達との話合い



授業研究の様子

*裏面もあります。